

墨田区議会 Liberal Democratic Party

自由民主党だより

2014

7
July

■発行／墨田区議会自由民主党 (墨田区吾妻橋1-23-20)

■発行責任者／樋口敏郎 ※ご意見・ご要望をお待ちしております。

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>



議長就任あいさつ

私は、去る5月23日に開会された区議会臨時会において、全議員のご賛同をいただき区議会議長に選任されました。

私にとっては、平成18年以来二度目の議長となりますが、改めてその職責の重さを痛感し、身の引き締まる思いです。



墨田区議会議長
田中 邦友

自民党執行部、区議会人事が新しくなりました。
ご期待下さい!

新体制スタート

幹事長再任にあたって

去る4月の区議会自民党総会におきまして、幹事長に再任させていただきました。昨年に引き続き、区議会最大派の幹事長という重責を務めることに、改めて身の引き締まる思いです。

本年度は墨田区議会第17期の最終年度であり、区



墨田区議会
自由民主党 幹事長
樋口 敏郎

議会自民党として区政の課題にどのように取り組んできたのか、この4年間の総括が求められています。また、平成28年度から始まる新しい墨田区基本計画に向けての道筋を作っていく1年でもあります。この中で、行財政改革、区内商工業の活性化、「国際観光都市すみだ」づくり等々、課題を解決していかなければなりません。

私たち墨田区議会自由民主党所属議員は、責任ある立場で墨田区の将来像を真剣に考え、区政の諸課題について一致団結して取り組み、区民の皆様のお声に応えていくことをお約束いたします。

区民の皆様の変わらぬご支援を引き続き区議会自民党に賜りますようお願い申し上げます。

東京スカイツリーが開業して3年目に入りましたが、区としてはいまだその効果を実感できるまでには至っておりません。スカイツリーを訪れた観光客が区内を回遊し、区内で消費していただくこと等により、本区の活性化を図ることが強く求められています。そのほか、防災、福祉、産業、教育、行財政改革など様々な重要課題が山積しています。

また、議会においても、より開かれた議会を目指すとともに、議会の権能を十分に発揮していくための議会改革の検討を進めております。

私は議長として、円滑な議会運営に努め、「人が輝く いきいき すみだ」の実現に向けて全力で取り組む所存です。

皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



坂下修議員が

墨田区監査委員に就任しました

5月23日の第一回臨時会において、坂下修議員が墨田区監査委員に就任しました。

監査委員は、区の事務事業が法令に則って適正に行われているか、最小の経費で最大の効果をあげられているかなど、行財政全般にわたって公正性・効率性確保等の観点からチェックを行うのが仕事です。墨田区では有識者2名と区議会議員1名の3名で構成されています。



墨田区監査委員
坂下 修



執行部・議会運営委員会

平成26年度の新執行部です。本年度も円滑な会派運営に努めます。
左から山本亨副幹事長、樋口敏郎幹事長、瀧澤良仁副幹事長、加藤拓副幹事長。
執行部のメンバーは議会運営委員会委員を務めます。

第二回定例本会議での質疑一覽

「代表質問」



墨田区議会議員
加藤 拓

「質問内容」

●すみだ北斎美術館について

- ① 寄付金の状況
- ② 運営計画及び
まちづくり計画について
- ③ すみだ北斎美術館
建築工事の入札について
- ④ 美術館に対する区民の理解

すみだ北斎美術館については、平成26年度予算の付帯決議で、寄付金の募集や精緻な運営計画の提出を求めている。

①②その対応状況を質問した。③建築工事の入札が適正に行われたのかを確認した。④美術館が区民の理解を得られていない点を指摘し、改善を求めた。

●公共施設マネジメントの取組について

- 財政への効果
- 施設の更新の考え方

●観光施策について

- ① 観光客の誘導
- ② 近隣区との連携
- ③ 区内循環バス

観光客の区内回遊は進んでおらず、スカイツリー効果が十分表れていないことを指摘し、これまでの施策を検証した上での取捨選択を行うべきことを主張。①遠方から、近隣からと、対象ごとに効果を上げていく施策を伸ばすべき。②近隣区との連携による相互作用を。③区内循環バスは観光用にスタートさせたが、現状はほとんどが区民の日常利用であるため、区内交通網の一環として利便性を高める取り組みに移行すべきと提案。

●子ども・子育て支援新制度について

- 私立幼稚園への対応
- 保護者への説明

●教育委員会および学制改革について

- 教育委員会制度の改正への対応
- 小中一貫教育について
- 5歳児の義務教育化について

「一般質問」



墨田区議会議員
佐藤 篤

「質問内容」

- 国が責任を認めた薬害肝炎事件や集団予防接種禍事件によって、肝炎ウイルスに感染してしまったであろう方々が、区内に最大約7,500名いると推計される。自身の感染に気が付いていただけするように、保健所で無料で行っている肝炎ウイルス検診の必要性を区民の皆さんに分かりやすく周知するべき

- 子ども・若者育成支援推進法に基づく計画・協議会の設置を「中学生区議会」を活用した政治教育の充実を
- 改正建築基準法に基づく老人ホーム定員の拡大を
- 改正道路法に基づく首都高速高架下を活用した水辺空間利用を
- 出生に関する6つの窓口手続を簡素化すべき

大瀬議員の言動についての 自民党の見解

6月13日、大瀬議員が本会議質問で、平成21年区議会で審議された旧区庁舎跡地の売却に関する議案をめぐって「①議員の中に不動産鑑定士法に基づく鑑定評価額の提出を求め(中略)る議員がいれば、結果は違った」「②議会の権限はこうした場で発揮しなければ意味がない」と批判しました。この件につき、自民党としては①専門機関に依頼した適正な価格であること等を慎重に確認したもので、②

議会の権限を適切に行使したものであると考えており、これに反論するものです。

なお、大瀬議員は2月25日付のブログで、公党である自民党を名指しで「雑魚」と表現しています。これは、自民党議員はもとより自民党に投票された多くの区民に対する侮辱にあたるもので、議員としての正当な論評を超えた悪意に満ちたものです。

自民党としては事実に基づいたフェアな議論を貫き、区民の皆様には是非をご判断いただけるように、全力を尽くします。

特別委員会が開かれました

5月19日 都市開発・災害対策特別委員会

●都バス墨38系統についての報告

都バス墨38系統(東京リハビリテーション病院(両国駅))については、今年度一杯で廃止の見通しで、その代替措置として区内循環バスの一部ルート変更で対応する方向が示唆されました。

5月20日

観光対策特別委員会

- 区内循環バス利用実態調査の結果の報告等

区内循環バスは日常の区民利用が



8割を占め、観光客の利用は1割に満たないという実態が明らかとなりました。



区民文教委員会

戸籍、国民健康保険、国民年金、
税務、地域コミュニティ、文化振興、
清掃・リサイクル、環境保全、学校教育、
スポーツ振興や生涯学習に関する事項を審議します。



●緑幼稚園の移設と緑小学校のクラス増設を決定しました

周辺人口の増加により、緑小学校の定員拡大が必要となったため、現在、緑小学校敷地内にある緑幼稚園を隣接地に移設します。これに伴い、幼稚園として利用していた空間を、小学校の教室確保に利用し、緑小学校の定員確保を行います。このため、墨田区立学校設置条例及び墨田区立幼稚園設置条例の改正を行いました。

墨田区南部は、現在マンション建設に伴う人口増が顕著であり、区議会自民党としては、一歩先を見据えて、保育・教育施設の定員確保に全力で取り組んでまいります。

●すみだ北斎美術館に関する寄付金募集計画について

墨田区議会は、財政への負担を軽減するため、3月の予算審議にあたって付帯決議を付け、区長に対して5億円を目標とした寄付金を集めるよう求めました。

これを受けて、区長は「寄付金募集計画」(案)について区議会に報告を行いました。この中で、法人や個人向けのさまざまなメニューが用意され、寄付金額によって、館内顕名板への氏名掲示、内覧会への招待、入館無料パスの進呈などが行われる案が提示されました。また、現在の企業訪問や各種団体への協力依頼の状況が報告されました。

区議会自民党は、区長から示された、平成26年度に2億円、27年度に1.5億円、28年度に1.5億円という寄付目標を注視し、北斎館の建設と運営にあたり、財政負担が極力生じないように全力を尽くします。



▲円滑な進行をする瀧澤良仁区民文教委員会委員長



▲区民文教委員会でのしもむら緑委員(左)と佐藤篤委員(右)



企画総務委員会

区政の総合的な計画、予算、職員・組織、
広報広聴、契約や防災・危機管理に関する
事項のほか、他の委員会に属さない事項を審議します。



●【補正予算】

①臨時福祉給付金及び②子育て世帯臨時特例給付金給付事業

4月に行われた消費税率8%への引き上げに伴い、負担軽減を考慮して、①所得の低い皆様、②子育て世帯の皆様への給付金を支給します。区議会ではこのための予算審議を行いました。

①は原則として平成26年度の住民税(均等割)が課税されていない方、②は児童手当の受給者(所得制限があります)の方が対象となります。詳しくは条件がございますので、区役所(電話 5608-1111)までお問い合わせください。

区議会自民党としては、申請対象となる方が漏れなく申請できるような体制整備を求め、指摘・提案を行いました。

●墨田区客引き行為等の防止に関する条例

かねてから指摘されていた、区内繁華街での不穏な客引き行為の対策を行うため、墨田区議会では新たに条例を策定しました。

条例の内容は、区民や事業者等の権利を不当に侵害しないように留意しつつ、公共の場所において客引き行為を全面的に禁止します。また、客引き行為を防止するために、区は警察や地域住民の皆様と協力していくこととなります。

また、公共の場所におけるピンクちらし配布、掲示行為等を全面的に禁止し、街の美化にも寄与する内容となっています。

条例審議の中では、問題となっている「客待ち行為」についても議論になりましたが、今後条例の施行の中で、この点についても注視していきたいと思います。



▲企画総務委員会で議事を進行する出羽邦夫委員長



▲鋭く問い質す山本亨委員

第二回定例会の様子



産業都市委員会

商工業の振興、消費者行政、
まちづくり、公園、道路や河川などに
関する事項を審議します。



●墨田区自転車の利用秩序及び自転車駐車場の整備に関する条例(改正)

区の調査により、買い物やレジャー利用など、短時間駐輪の住民要望が多いことが判明しました。これを受け、区議会では条例を改正し、10月より、錦糸町駅及び両国駅周辺の2か所に、短時間利用向けの駐輪場を整備することとしました。

利用料は、最初の2時間以内は無料で、2時間を超えると1時間あたり100円がかかります。今後も状況を見極めて、自転車利用のしやすい墨田区に向けて政策提言を続けていきます。

●両国観光まちづくりグランドデザインについて

墨田区では、ポストスカイツリーとなる観光施策として、両国観光に光を当てており、その計画内容について区議会に報告がありました。

区では「両国観光まちづくりグランドデザイン」を策定し、両国地域の豊富な観光資源の発掘を目指しています。そのコンセプトは「両国開花宣言」で、短期的にはすみだ北斎美術館が開館する平成28年度まで、中期的には平成32年度東京オリンピック・パラリンピックまでをひとつの目標として策定しています。

この中で、重点事業として、国技館通りや隅田川テラス、北斎通りや緑町公園周辺、本所松坂町公園、馬車通り、大横川沿い等が定められています。

区議会自民党としては、両国地域住民の皆さんの声が活かされるよう、提言を続けていきます。



▲産業都市委員会にて発言を指名する福田はるみ委員長



▲課題を指摘する沖山仁委員



▲質問する加藤拓委員



福祉保健委員会

子育て支援、高齢者・障害者福祉、
介護保険、健康づくりや
保健衛生に関する事項を審議します。



●私立幼稚園施設整備資金貸付を拡充しました

これまで複数の制度にまたがっていた、私立幼稚園及び私立保育園に対する貸付制度を統合し、貸付限度額を現在の3,000万円から5,000万円に拡充しました。

この間、備品購入や小規模修繕を目的として貸付が行われてきた同制度ですが、施設の老朽化に伴う大規模改修のニーズも多く、今回の拡充を行うことになりました。

区議会自民党としては、幼児の教育・保育環境の充実に向けて、あらゆる制度の見直しを通じ、行動してまいります。

●子ども・子育て支援新制度に係る基準についてまとめました

来年4月から「子ども・子育て支援新制度」が開始されます。これに対応するため、自治体において基準等を条例で定める必要があり、この内容について区議会に報告がありました。

この中で、家庭的保育事業(保育ママ)については現在、各家庭から弁当・おやつを持参していますが、新制度では事業所内での調理によるものとされています。現場では物理的に調理室の配置は難しく、現実的ではないことが指摘され、このため、区としては調理業務の委託で対応する旨が説明されました。

その他、保育士の配置基準や入園入所選考、守秘義務、学童クラブ等の墨田区ならではの課題について、議論がなされました。



▲福祉保健委員会での林恒雄副委員長と中沢えみり委員



▲発言する田中邦友議長

NEWS

ニュース

全国市議会議長会より功労が認められ、西原文隆議員は区議会議員在職35年特別表彰、林恒雄議員は同15年表彰を受けました。今後一層、区民の皆様の福祉向上のため、日々邁進してまいります。



**西原議員・林議員が
全国市議会議長会から表彰されました。**

TOPICS

トピックス

大阪市、箕面市、堺市で行政調査を行いました。

大阪市では、歩道空間(公道)をオープンカフェとして活用している事例を調査しました。墨田区でも「おしなり街角スカイカフェ」が社会実験として行われています。箕面市では、町会やPTAの皆さんが安心して名簿の作成や管理ができるようにと制定された「ふれあい安心名簿条例」について、子ども総合窓口及び幼稚園・保育園行政の一元化について調査しました。堺市では、2つの市立高校跡地に誘致した大学キャンパスを現地で調査しました。現在墨田区は、旧曳舟中学校と旧西吾嬬小学校跡地に大学誘致を進めており、土地の性格や広さ等よく似た事例で、今後の参考にしていきたいと考えています。



瀧澤 良仁

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 区民文教委員会委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☎ 墨田 5-33-4 ☎ 3611-4003

すみだ自民党
議員紹介

墨田区議会自由民主党の所属議員です。
お近くの議員にご相談ください。



西原 文隆

- 産業都市委員会委員
- 観光対策特別委員会委員長

☎ 押上 1-25-5 ☎ 3622-9570



坂下 修

- 墨田区監査委員
- 区民文教委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 向島 3-18-10 ☎ 3625-1810



出羽 邦夫

- 企画総務委員会委員長
- 観光対策特別委員会委員

☎ 八広 4-11-19 ☎ 3616-5834



田中 邦友

- 墨田区議会議長
- 福祉保健委員会委員
- 観光対策特別委員会委員

☎ 八広 1-39-17 ☎ 3616-7014

行動します! We Take ACTION!!



沖山 仁

- 産業都市委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 京島 1-39-1-918 ☎ 3617-6558



林 恒雄

- 福祉保健委員会副委員長
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☎ 江東橋 1-8-7 ☎ 3631-1934



樋口 敏郎

- 幹事長・議会運営委員会委員長
- 企画総務委員会委員
- 観光対策特別委員会委員

☎ 八広 3-6-3 ☎ 3617-4129



山本 亨

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 企画総務委員会委員
- 観光対策特別委員会委員

☎ 向島 5-42-3 ☎ 3622-0010



福田 はるみ

- 産業都市委員会委員長
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 業平 4-5-16 ☎ 3625-8139



中沢 えみり

- 福祉保健委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 堤通 1-5-9 ☎ 080-5008-9930



加藤 拓

- 副幹事長・議会運営委員会委員
- 産業都市委員会委員
- 行財政改革等特別委員会委員

☎ 緑 1-2-12-503 ☎ 050-1334-9640



佐藤 篤

- 区民文教委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☎ 京島 3-18-4 ☎ 090-8567-8293



しもむら 緑

- 区民文教委員会委員
- 都市開発・災害対策特別委員会委員

☎ 亀沢 4-22-8-608 ☎ 6658-4595

ホームページもチェック!

<http://jimin-sumida.jp/>

墨田区議会自由民主党

お気軽にご意見をお寄せください。